

VII 成果と問題点

1 米原4遺跡H-4の調査から

今年度、南西壁部分が調査されたH-4は、竪穴の規模は長径3mに満たないものの、中央付近で地床炉が検出されており、小型の住居跡と判断された。時期は、Ⅲ群b-2類土器が床面等で出土していることから、縄文時代中期後半、柏木川式期とみてよいであろう。この時期の小型の住居跡は、石狩低地帯の中央部で多く検出されている。ここでは、本遺跡の所在する胆振地方東部、および日高地方西部で調査された同種の遺構について、どのような特徴があるのか簡単にまとめ、あわせて本遺跡での問題点にふれておきたい。

(1) 特徴

この地域において柏木川式期とみられる小型の住居跡は、苫小牧市美沢11遺跡で6軒（北埋調報44）、同市静川21遺跡で5軒（苫東遺跡群V）、厚真町厚真8遺跡で2軒（苫東遺跡群I）、門別町ペサウンコツ遺跡で1軒（門別町教委1995）等が報告されている（表Ⅶ-1-1）。ここで「小型」とする規模は、各住居跡の計測値から、長径3m前後以下、床面積5m²程度以下であり、地床炉（可能性があるものも含む）や柱穴の検出から住居跡と判断されるものである。

図Ⅶ-1-1は、上記の遺跡で検出された小型の住居跡14軒の平面図に本遺跡の2軒を加えたものである（図中の番号は表Ⅶ-1-1に対応）。美沢11遺跡では、（a）地床炉以外の付属構造がないもの2軒（4、1）、（b）床面からの立ち上がり部分に溝がめぐるもの3軒（3・6・2）、（c）床面より一段高い張り出しがあるもの1軒（5）が検出されている。静川21遺跡では、（a）が5軒（7～11）、厚真8遺跡では（c）が2軒（12・13）、本遺跡では（a）が1軒（15）検出されている。この他、土坑の検出されるものもあるが（3、14、16）、住居跡内での位置、規模、形態の差が大きく、今後類例を集めて検討する必要がある。

このように、上記の遺跡では（a）～（c）のように異なる特徴のものがみられた。（b）は恵庭市南島松3遺跡（恵庭市教委1992）51号住居址等、（c）は江別市高砂遺跡（江別市教委1989）H-42等のように、石狩低地帯でも検出されている。

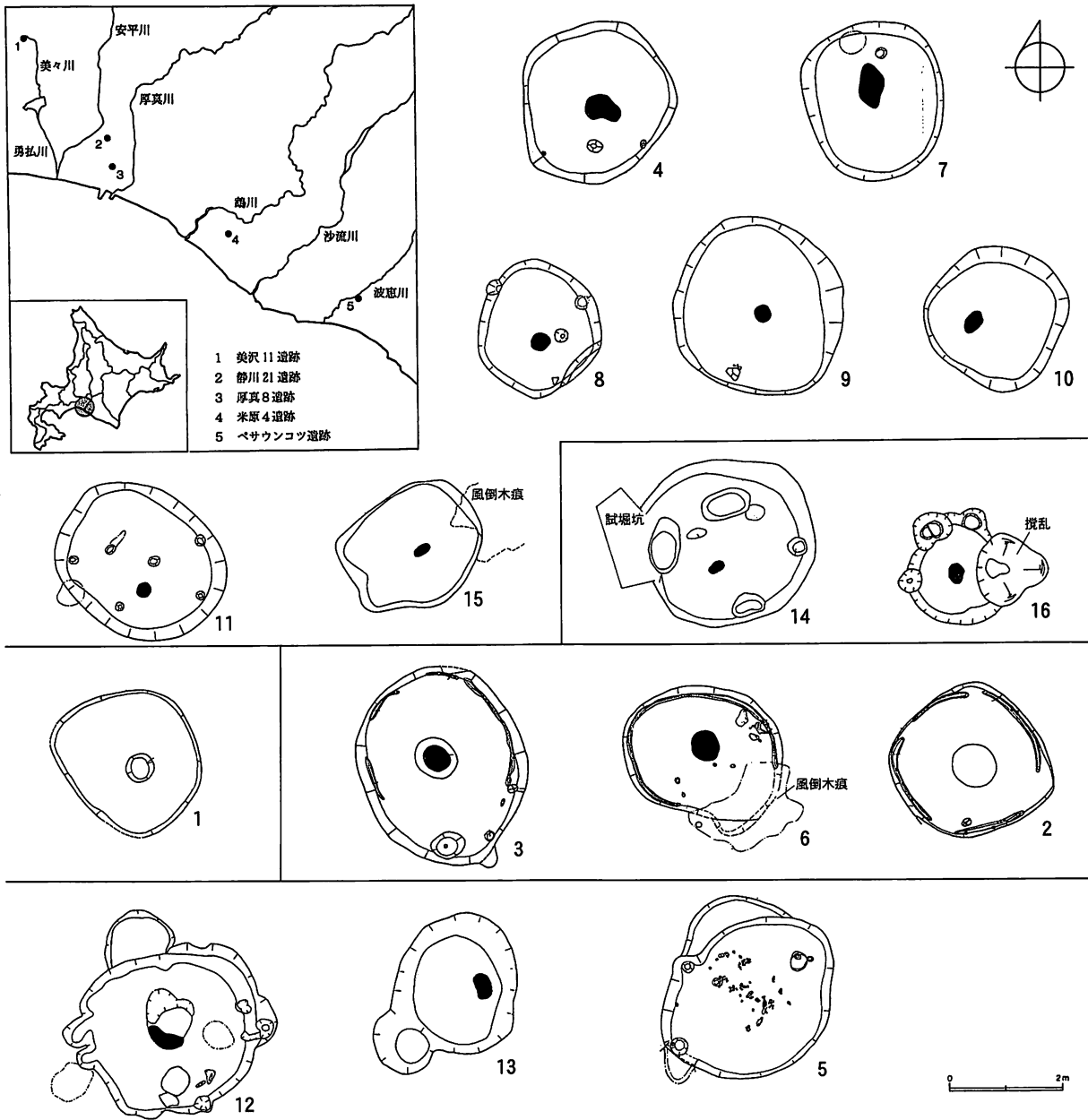
(2) 問題点

本遺跡では平成12年度の調査において、同時期の可能性がある住居跡が4軒検出されている（北埋調報153）。これらは相対的な規模の差によって、大型（H-1）、中型（H-6）、小型（H-2・3）に分けられる。美沢11遺跡、静川21遺跡でも、小型の他に、大型・中型の住居跡が検出されており、住居跡の重複や掘り上げ土の分布、土器の接合関係等から、柏木川式期内でも構築時期に差のあることが推定されている。本遺跡では重複するものがなく、土器等の接合による情報も得られていないため、住居跡間にどのような時間的関係があるのかは不明である。

規模の違いを時間差として捉えることの他に、小型と大型の住居跡が存在することについて、それぞれの炉の土壌を分析する等、住居跡の性格を比較する上で基礎的な材料を増やしていくことも必要である。

最後に、縄文時代中期後半に大型、中型、小型の住居跡が近接して検出される例が、胆振地方の東端にある本遺跡でも確認されたことは特筆されてよいであろう。

（山中）



表Ⅶ-1-1 柏木川式期の小型の住居跡（胆振地方東部・日高地方西部）

番号	所在地	遺跡名	遺構名	平面形	確認面(m)		床面(m)		深さ(m)	床面積(m ²)	炉(m)			柱穴
					長径	短径	長径	短径			長径	短径	厚さ	
1	苫小牧市	美沢11	H-9	隅丸方形	2.71	2.42	2.52	2.37	0.91	4.49	—	—	—	—
2	"	"	H-15	隅丸方形	2.62	2.62	2.46	2.50	0.41	5.21	—	—	—	7
3	"	"	H-16	楕円形	3.59	2.90	3.28	2.53	0.63	6.49	0.5	0.4	0.06	2
4	"	"	H-19	隅丸方形	2.97	2.73	2.63	2.46	(0.61)	4.73	0.6	0.5	0.10	3
5	"	"	H-24	楕円形	3.17	2.86	2.94	2.60	0.38	5.61	—	—	—	7
6	"	"	H-26	楕円形	2.80	(2.32)	2.60	(2.09)	0.30	4.41	0.6	0.5	—	4
7	"	静川21	1号住居跡	隅丸方形	2.75	2.40	—	—	0.40	4.24	0.78	0.40	0.05	1
8	"	"	3号住居跡	隅丸五角形	2.20	2.20	—	—	0.40	3.00	0.34	0.30	0.07	1
9	"	"	5号住居跡	隅丸方形	3.10	2.95	—	—	0.50	5.67	0.30	0.27	0.08	—
10	"	"	6号住居跡	隅丸方形	2.35	2.30	—	—	0.30	3.35	0.40	0.25	0.07	—
11	"	"	8号住居跡	隅丸方形	3.00	2.50	—	—	0.40	4.39	0.28	0.24	0.05	6
12	厚真町	厚真8	2号住居跡	隅丸方形	3.20	2.80	—	—	0.32	5.65	0.66	0.32	0.04	—
13	"	"	3号住居跡	楕円形	2.42	2.10	—	—	0.35	2.30	0.45	0.27	0.04	—
14	鶴川町	米原4	H-3	円形	3.36	3.18	2.80	2.78	0.40	5.32	0.30	0.20	0.04	—
15	"	"	H-4	不整隅丸方形	2.55	2.10	2.24	1.94	0.26	3.44	0.32	0.20	0.04	—
16	門別町	ベサウンコツ	H-5	円形	1.9	—	1.5	—	0.12	(1.34)	0.24	0.16	—	—

※数値等は各報告書記載のものであるが、太字は改めて計測したものである。